

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (安芸太田町立筒賀小学校)

- ① 教科等 体育科 ② 学年 第3・4学年
- ③ 単元名 「体づくり運動 (多様な動きをつくる運動)」
- ④ 本時の目標 自分の課題を意識して、互いに学び合いながら工夫して運動をすることができるようにする。
- ⑤ 学習の流れ (4時間目/全6時間)

| 学習活動 | 指導上の留意事項 | 評価規準〔観点〕 (評価方法) |
|---|--|--------------------|
| 1 整列, あいさつをし, 音楽に合わせて準備運動する。 | ・楽しい雰囲気をつくるためにアップテンポな曲を使用し, 準備運動を行わせる。 | |
| 2 前時の振り返りと本時のめあての確認をする。 | ・各運動をしながら運動のポイントを伝え合うこと, それぞれの運動後に発表することを確認する。 | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">うまくできるやり方を伝え合いながら名人をめざそう。</div> | | |
| 3 4つの運動をする。 | | |
| ①運動のめあてをもつ。 ・バランスボール ・フープくぐり ・ボールわたし ・平均台ドリブル | ・前時間での学習で出された「運動ができるためのポイント」を, 具体的な動きや様子を表す言葉を使ってまとめたシートをもとに振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">勢い, 姿勢, 回数, 力の入れどころ, スピード, 器具の動き, 位置, 目の動き など</div> | |
| ②4つの運動を行う。 | ・4つの運動を, 時間を決めて移動させる。 ・互いに, 動きや言葉を使ってアドバイスし合いながら練習するよう助言する。 | |
| ③運動のポイントを話し合う。 | ・よい動きは, 「どのようにしたらできたか」を語らせたり, 見本の動きをしたりさせる。 ・自分なりに工夫したことやどのようにすると上手にできるか話し合わせ, まとめさせる。 | |
| ④自分の課題を持ち, 練習をする。 | ・話合いで出たことを生かしながら, 苦手な運動を試させる。 | |
| 4 本時のまとめと整理運動をする。 | ・児童の自己評価・相互評価をしながら今日の学習の成果を確かめる。 | |
| 5 次時の学習を確認し, 見通しをもつ。 | ・4つの運動を工夫して新しい動きに取り組むことを知らせる。 | |

【言語活動の充実】

【言語活動の充実】

設定した言語活動を通して育てたい力

○ **自分が見つかった動きを, うまくできたときの感覚を思い出しながら, 動きのポイントや仕方を伝えることができる。**

言語活動の充実のための指導の工夫

○ **姿勢, 回数, 力の入れどころ, タイミング, 器具の動き, 位置, 目の動きなどを具体的な言葉を使って表現できるよう, 例示や発言評価をしながら促す。**